

(別添)

1 受賞者

田口 俊章 (たぐち としあき) 氏

※タグチ I V F レディースクリニック 院長 (平成 11 年 9 月～現在)

2 主な功績

【職歴】

昭和 53 年 3 月に鳥取大学医学部医学科を卒業後、同年 6 月に医師免許を取得。

昭和 57 年 3 月に大学院博士課程を修了後、同年 4 月に鳥取大学医学部産婦人科学教室に入局し、助手として、昭和 57 年 5 月まで勤務する。

昭和 57 年 6 月に、鳥取県立中央病院産婦人科の医長に着任し、通常分娩やハイリスク分娩などを扱い、産婦人科医としての臨床経験を培うとともに、地域の産婦人科医療に貢献した。

平成 11 年 9 月に、「タグチ I V F レディースクリニック」を開業し、地域の産婦人科医療の中心的な存在として分娩を取り扱ってきたほか、一般の不妊治療・検査はもとより、体外受精、顕微授精、凍結受精卵胚移植、Assisted Hatching (アシステッドハッチング) といった最先端不妊治療にも積極的に取り組むとともに、婦人科検診も数多く対応し、子宮がんなど婦人科疾患の早期発見・早期治療に貢献している。

【役員歴】

平成 25 年 4 月に、鳥取県産婦人科医会の監事に就任し、令和 3 年 3 月までの 8 年間、母子及び女性の健康増進に努め、「安心・安全」な医療を実現に尽力したほか、産婦人科専門医の資格を有し、日々の研鑽の中で確かな学術基盤を確立し、本県の産婦人科医療の進展に大きく貢献した。

令和 5 年 11 月に開催された「不妊に関する勉強会」(鳥取県東部不妊専門相談センター主催) では体外受精に関する講演 (YouTube による動画配信) を行い、また、クリニック院内では不妊治療について分かりやすく説明をする「ウィッシュ・ベビーの会」を 2 ヶ月に 1 回開催するなど、不妊治療に関して地域住民に最新の情報提供を行うとともに、患者さんに寄り添った治療・取組みを行っている。